

9月2日の臨時保護者会にお集まりの皆様、新学期早々ご多用の中ご参加くださり、どうもありがとうございました。この学校だより（臨時号）は臨時保護者会での説明や質疑を振り返り、また、参加されていない保護者の皆様にも内容をお知らせするものであります。

1 校長あいさつ

本日は、週の初めの御多用の中、臨時保護者会にお集まりくださいまして誠にありがとうございます。長い夏休みが終わり、昨日まで静かだった布施小学校に、子どもたちの元気な声に戻って参りました。2学期もどうぞよろしくお願いいたします。

さて、本日は、2・3年生の複式学級の運営に関しまして、保護者の皆様への説明が不十分だったこととお詫び申し上げるとともに、時間割りに変更があったことなどを含め、保護者の皆様へ、2学期をスタートするにあたり改めて説明する必要があると考え、お集まりいただきました。

まずは、4月当初からの説明がすべての皆様に行き届かず、ご迷惑をおかけしたことをお詫び申し上げます。どうも申し訳ありませんでした。

本日は、複式学級経営に関する疑問点を解消し、問題点や改善点等につきましてご意見をいただければ幸いです。短い時間ですが、どうぞよろしくお願いいたします。

2 2・3年生「複式学級」の運営に関して（説明）

(1) 複式学級全般について（本来の形と、本校での取り扱い方の説明）

- ・複式学級とは：担任1名、教室1教室、同時に2学年を受け持つものである。

例：前の黒板と後ろの黒板を活用し、2学年を受け持つ。

2教室に分けることもある。その場合、担任が教室間を移動する。

担任が話をしない側は、問題を解く、考えをまとめる、話し合い活動を行う、など。

朝の会、帰りの会、給食、掃除、行事への参加、遠足、避難訓練 等 すべて1クラスとして行動する。

- ・昨年度のPTA会長、小野寺様を中心に署名をおこなって頂いたありがたい経緯もある。
- ・今年度「きめ細かな指導のための非常勤講師」として、井上講師が配置された。
- ・担任：片原教諭、副担任：井上講師で2・3年生を受け持っている。
- ・子どもたちへは、2年生担任：井上先生、3年生担任：片原先生で説明している。
- ・公的な書類（公簿）は、2・3年生複式学級担任：片原教諭、副担任：井上講師としている。
- ・通知表、面談については、子どもたちだけではなく、保護者に関係するものなので改善する。
通知表：2年：井上、3年：片原 → 2年：片原、井上、3年：片原 と変更。
面談：2年：井上、3年：片原 → 2年：片原、井上、3年：片原（井上）と変更。

(2) 2年生「担任（井上）」の勤務形態について（勤務時間並びに勤務形態の説明）

- ・非常勤講師という立場であり、週の勤務時間が限られている。
- ・退勤時間が14:30である。そのため、子どもたちの放課後の活動には対応できない。
- ・行事等への参加は本来なら片原教諭と井上講師で参加すべきであるが、井上講師と管理職で対応することで2年生として参加できるようにする。
- ・遠足は、2年生が単独で行うときは、井上講師と管理職が引率。
- ・校外学習は、2年生が単独で行うときは、井上講師と管理職が引率。

(3) 時間割の変更について (学校経営の評価から得た授業改善の結果説明)

- すべての教科で井上講師を担任としたが、より効果的な授業をおこなえることが分かった。
例：体育は、プール学習は、1～3年、4～5年に分けたが、本来は、すべての学習内容を1・2年生で行うことが望ましい。
理科に関しては、2年生は生活科、3年生は理科として学習するので別々に学習したほうが効果的である。
社会科に関しても、2年生は生活科、3年生は社会科なので、理科と同様である。
国語、算数は、井上講師が「少人数学習」の形をとったほうが効果が上がる。
- 国語、算数：井上講師が2年生を受け持つ
- 生活：井上講師が2年生を受け持つ
- 体育：渡辺（1年生担任）教諭が1・2年生を受け持つ
- 音楽：渡辺教諭が1・2年生を受け持つ
- 図工：片原教諭が2・3年生を受け持つ
- 学級活動：片原教諭が2・3年生を受け持つ
- 道徳：片原教諭が2・3年生を受け持つ
- 朝の会、帰りの会、給食：2・3年生合同で、主担当：片原教諭、副担当：井上講師
- 担当が変わったことによる、評価、評定、成績の検討（引継ぎ）は確実におこなった。
- 今後も、効果的な学習方法があれば変更の可能性がある。（基本的には変更しない）
- 来年度からの新学習指導要領への移行期間なので、その関係で今後も変わることがある。

(4) バス待ちドリルについて (放課後学習は安全上無理があることの説明)

- 部活動終了までの、兄、姉を待つ時間を活用して「バス待ちドリル」がスタートした。
- 本来の趣旨は、保護者に、短時間に何度も迎えに来てもらうのが大変だろうと推察し、2回迎えに来られない家庭の1・2年生は、「部活動終了まで図書室で読書をして待っていてもよい」ということであった。その場合は、連絡帳等であらかじめ届けることが条件であった。
- 「バス待ちドリル」は、効果が上がった子どももいた。実際に学力が向上した。
- 「迎えに来られるがドリルをやってほしい」、「他学年も残してドリルをやってほしい」、という要望も出てきた。
- 他学年（特に1年生）と歩調を合わせるため、残念であるが本来の形に戻したほうが良い。
- 部活動を行っている時間帯は、教員がドリル学習を監督することが難しい。
教員が交代で図書室の様子をうかがいに行くことはするが、安全管理上からも、教員が監督できない時間帯をなるべく減らしたい。
したがって、できるだけ迎えに来ていただけると助かる。
- 学力向上に関しては、授業中に確実にやる。これは学年を問わず、教員の務めである。
- 朝自習や休み時間を活用することも必要になってくるだろう。工夫しておこなう。
- 1・2年生のバス待ちについては、連絡帳等で届け出れば、図書室で待つことができる。

(5) 情報の発信について (複式学級の説明が行き届かなかったことへの対応)

- 文書の配布や電話連絡等を、今まで以上に確実にやる。
- 来年度「複式学級」の件を含め、時間割や担当の変更、また、例年と大きな行事の変更を行う場合は、役員会、保護者会等を積極的に開催したり。アンケートをおこなったりする。
- ホームページを活用する。(パソコンやスマートフォンで見られるように工夫する)
- ホームページでは、校長への意見箱を設ける等、意見を積極的に取り入れるよう努める。

3 質疑応答

Q : バス待ちドリルの学習場所（部屋）が移動した経緯について

A : その時に一番良い方法を取り入れた。図書室でおこなったり、教室と図書室に分けたり、そのほかの部屋でおこなったりした。理由は、何人かでドリルをおこなっていると、話をしてしまうことがあった。さらに少人数に分けて行うほうが効果的ではあったが、監督する教員が足りなかったりもした。2学期からのバス待ちは、図書室で読書等をおこなう。

Q : 夏の部活動に関して。来年度に向けて練習試合をしなくてよいのか。子どものやる気を伸ばす活動ではないのか。意見を聞いてから決めてほしい。子どもたちの「勝とう」という気持ち、3年生からおこなっている良さを生かし、子どもたちをよい方向に向けてもらいたい。

A : そのとおりである。夏は部活動の時期であると個人的には思う（校長）。布施小学校の子どもたちはとても素直である。陸上大会、運動会等の練習を見ていると、少人数のため、すぐに自分の番が回ってくる。それでも毎回一生懸命走り、跳び、活動を行う。結果休む間もなく活動を続ける。子どもたちはそれを本当に一生懸命に繰り返す。中には、顔を赤くしたり、ふらふらしたりしながらも続ける子どももいる。暑い日の体育館の温度を測ると40℃を越す日が数多くある。グラウンドは直射日光で、風がない日もある。その中で、この素直な子どもたちが練習を繰り返すのは、休憩を取り入れながらの活動であっても危険であると考えた。また、学校への行き帰りもかなりの暑さが予想される。この暑さ中では、熱中症の危険から子どもたちの命を守ることを優先しなければならないと考えた。さらに、部活動は複数の教員で監督させたいが、夏休みは教員の研修が重なり、研修の入れ替え等工夫をしても人員の確保がかなり難しく、けが等への対応が困難となる。夏休みの部活動の中止は、子どもたちの健康上の安全面から苦渋の決断であった。夏休み前の学級活動で「涼しい時間帯に心と体を鍛えること」を子どもたちに指導すること、「2学期から急に部活動を再開することを配慮すること」を校長から教員に指示した。今回、夏休みの部活動中止を学校が一方的に決めてしまったところがあるので、今後は、まず子どもたちに問いかけ、同時に保護者にもアンケートを行ったり、PTA役員会にはかたり、場合によっては保護者会を開き説明し、意見を求めることも検討する。教室にもエアコンが入ったので、うまく活用できるように検討を重ねる。

Q : 9月の部活動は行うのか。

A : 9月は夏休みと違って、教員の出張も限られてくるので、工夫しておこなう。

Q : 体育館に扇風機を入れてほしい。

A : 教室にエアコンが入ったので、教室で使用している扇風機を体育館で活用することは可能である。**時間割を変更して1時間目等涼しい時間帯に体育をおこなうなどの工夫をする。**

Q : 今回の保護者会の趣旨は、「複式学級の再確認」ということか。

A : そうである。意見を頂きたい。

Q : 複式学級に関して、来年度は入学生がいないと聞いたが、どの学年が複式になるのか、保護者会は開いてもらえるのか。役員会等でも事前に知らせてほしい

A : 説明会をおこなう。1・2年、3・4年、5・6年のまとまりができることが望ましいが、詳しくは検討中である。教員が1名減になると部活動の運営も厳しくなってくるので、講師やボランティアを各方面に要請中である。

Q : 今回の保護者会のお知らせは奉仕作業の時であったが、できるだけ早めに知らせてほしい。

A : 2学期を始めるにあたり説明を行う必要があったので、急になり申し訳ない。今後は、学校日より、ホームページ等を活用し、なるべく早くお知らせできるようにしたい。

4 連絡

(1) 新ALT来校

新学期が始まり、新しいALT（アシスタント、ランゲエッジ、ティーチャー：英語の講師）が着任しました。どうぞよろしくお願いいたします。

氏名：ワタナベ・ジョシュア・コウヘイ 先生

出身：アラスカ（アメリカ合衆国）

趣味：サッカー、スノーボード、経済学を学ぶこと

保護者の皆様も、見かけたらぜひ声をかけてください。

ただ、日本語は現在も勉強中だそうです。



(2) 郡市音楽発表会に向けて

今年度は11月20日（水）におこなわれる「郡市音楽発表会」の練習が始まりました。練習時間を確保するため、運動部（サッカー部、ミニバスケット部）の練習が始まる前の30分間は楽器練習や声出し等をおこなっています。また、外部の講師もお願いし、来週から数回にわたり練習を見ていただくことになっています。歌を歌うところもあります。ご家庭でもぜひ声を出す練習を続けていただければ幸いです。

(3) 布施まつりの検討始まる

11月16日（土）におこなう「布施まつり」の検討が始まりました。地域の皆様と作り上げていく「子どもたちの記憶に残るおまつり」にしたいと考えます。保護者の皆様にもご協力いただきたい場面が数多くあります。どうぞよろしくお願いいたします。

(4) 6年生の修学旅行に向けて

今年度の修学旅行は、10月31日（木）、11月1日（金）に1泊2日で予定しています。方面は、鎌倉、箱根方面を予定しています。6年生は、総合的な学習の時間を中心に計画を立てます。楽しい旅行になるよう、ご家庭でもアドバイスをお願いいたします。

(5) 「目いっぱい楽しい2学期にしよう」（始業式での校長講話から）

2学期に心がけてほしいことです。楽しいことを大いに楽しみ、我慢しなければならないことは我慢し、めいっぱい楽しい2学期にしましょう。そのために次の3つをお願いします。

一つ目：早く生活のリズムを取り戻してください。早寝・早起きが大切です。そして、夏休みの気分を早く取り去って、学校の生活に慣れるようにしましょう。

二つ目：いつでも・どこでも・だれとでも、しっかりとあいさつをしてください。布施小学校の子どもたちは気持ちの良いさわやかなあいさつができる、とほめられています。これをさらに続けて行ってほしいと思います。「あいさつは心の窓を開く鍵」です。皆さんの明るいあいさつが地域全体に広まることを願っています。

三つ目：仲良く助け合い、協力し合ってください。みんなと助け合ったり、協力したりしないとよい学級や学校はできません。一人の力は小さいけれど、みんなの力を合わせると大きな力になります。そのためには、自分勝手はいけません。いつでも相手の立場や気持ちを考えて行動することが大切になります。

文字が多くなり読みづらく申し訳ありません。

今後とも学校教育へのご協力を、どうぞよろしくお願いいたします。